

第2学年3組 生活科学習指導案

日 時：令和6年11月20日（水）5校時

場 所： 2 年 3 組 教 室

授業者： 高 田 晋 太 郎

1 単元名 「つながる広がるわたしの生活」（全12時間）

2（1）児童について

① 児童の実態

本学級の児童は明るく元気な子が多く友達と関わりあいながら活動することが好きな児童が多い。生活科「どきどきわくわくまちたんけん」や「もっとなかよしまちたんけん」では、みんなで探検することを楽しみにしながら、計画をたて活動する様子が見られた。ただ、自分の考えをもってみんなの前で発表することに抵抗感を示す児童は多く、「正解できなかったらどうしよう」「何を言っていかわからない」と発表について苦手意識をもってしまっている児童も多い。また、やってみたいという意欲よりも、どれをやればいいのかと大人に答えを求めて自分の考えを言わない児童も多く、さまざまな授業や活動において自分の考えをもち表現したいと思える児童を育成したいと考える。

② 集積したデータからわかる児童の実態

昨年度実施した市の学力状況調査の生活に関するアンケートの「自尊意識」「地域とのかかわり」において、以下のような結果が見られた。

分類	質問番号	質問内容	肯定否定	区分	小1	小2
自尊意識	7	自分には、よいところがあると思いますか。	○	学校	87.0	90.6
				市	92.2	90.4
			■	学校	13.0	9.4
	8	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。		市	7.0	9.1
			○	学校	92.0	97.4
				市	92.4	92.5
			■	学校	8.0	2.6
				市	6.7	7.0

分類	質問番号	質問内容	肯定否定	区分	小1	小2
地域とのかかわり等	26	「地域の人たちは、自分たちを見守り、支えてくれている」と思いますか。	○	学校	93.0	99.1
				市	93.9	95.9
			■	学校	6.0	0.9
	27	この1年間に、ボランティア活動に参加したことがありますか。（住んでいる近所で行われる清掃やお祭りでのボランティアも含まれます。）		市	5.5	3.7
			○	学校	25.0	28.2
				市	27.4	25.9
			■	学校	73.0	71.8
				市	71.8	73.6
	28	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。	○	学校	74.0	77.8
				市	79.3	81.1
			■	学校	24.0	21.4
				市	20.1	18.4

当該児童（当時1年生）の自尊感情に関する項目において、「よいところがある」「先生によいところを認められている」と感じている児童が市の平均よりやや低く、自分に自信をもてていなかったり、先生に認めてもらえていないと感じたりする児童が市平均よりやや多いことがわかる。また、「地域のかかわり等」に関するアンケートから、地域の人から見守りささえられていると感じている児童が市の平均と同程度なのに対して、地域の行事への参加や地域や社会への貢献の意識がやや薄いことがわかる。

以上のことから、児童から出てきた考えを生かしたり、気付いたことを表現したりできるような場を設定することで、児童同士が認め合いが出来るような活動や、地域のことについて学習を深める活動に

力を入れて取り組んでいく必要があると考える。

(2) 単元について

本単元は、新学習指導要領の次の内容を受けて設定した。

内容(3) 地域に関わる活動を通して、地域の場所やそこで生活したり働いたりしている人々について考えることができ、自分たちの生活は様々な人や場所と関わっていることが分かり、それらに親しみや愛着をもち、適切に接したり安全に生活したりしようとする。

内容(8) 自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝えあう活動を通して、相手のことを想像したり伝えたいことや伝え方を選んだりすることができ、身近な人々と関わることのよさや楽しさが分かるとともに、進んで触れ合い交流しようとする。

本単元のねらいは、地域の場所や地域で生活したり働いたりしている人と関わることを通して、自分たちの生活は地域の様々な人や場所と関わり、自分たちの生活を支えていることや生活を楽しんでいることが分かり、それらに親しみや愛着をもつとともに、人々と適切に接したり、安全に生活したりすることができるようにすることである。校区には、様々な商店、農園、工場、保育園、結婚式場、公共施設など、様々な施設があり、そこで生活したり働いたりしている人がいる。学校から近い場所も多く、子どもが日常的に繰り返し関わるができる。子どもが、たくさんの人々と触れ合ったりすることを通して、地域のよさに気付く、地域への親しみや愛着をもち、地域がより身近なものになると考える。

また、本単元は、1学期の「どきどきわくわくまちたんけん」を受け、「みんなでつかうまちのしせつ」「もっとなかよしまちたんけん」「つながるひろがるわたしの生活」へと学習がつながっていくように位置付けられている。年間を通した地域の様々な人や場所との関わりや日常的な関わりを通して、親しみや愛着をもつ人や場所を増やし、積極的に関わり、夢や希望や意欲をもって生活できるようにすることをねらいとしている。

(3) 指導について

まず、指導に当たっては、1学期の町探検の単元から「町のすてきを見つけよう」というテーマを一貫して児童に示し、本単元「つながるひろがるわたしの生活」での「町のすてきをつたえよう」というテーマにつなげることで、探究的な学びの学習過程を設定した。

次に、前単元の「もっとなかよしまちたんけん」の活動においては、探検する場所をなるべく児童の思いや願いを生かした場所にするすることで、児童が能動的に活動できるようにした。見てきて気付いたことを「みつけたよカード」や「たんけんてちょう」に書き残していくことで、見学し、質問して気付いたことを振り返りながら、本単元の活動に生かせるようにした。

本単元の学習過程は以下の通りである。

課題設定では、「町のすてきをつたえよう」というテーマをあらためて確認した。見学してきたことが、「建物のすてき」「働いている人のすてき」に分けて考えられることに気付けるようにして視点を明確にし、伝える相手のことを想像し、伝えたいことや伝え方を選んだまとめができるようにしていきたい。

整理・分析では、児童が得た多くの情報を「みつけたよカード」や「たんけんてちょう」に残すようにする。そうすることで、まとめて発表する場面において、見てきた気付きや発見を適切に活用できるようにした。

まとめでは、まとめ方をいくつか紹介し、選択して行えるようにした。児童は色々なまとめ方があることを知り、自分に合ったものを選べるようにすることで、多様な発表の仕方に触れる事が出来ると考

えた。また、まとめ方を具体的に示すことで、相手のことを意識したまとめにつなげられるようにしていきたい。その際、国語科で学んだ発表の仕方を活かしてメモを取ったり、タブレットを活用して写真を撮ったりするなど他教科で学んできた力を生かせるように適宜声掛けしていく。

表現では、個人で同じ場所に見学に行ったグループに発表した後、さらにグループでまとめてほかのグループに発表する機会を設けるようにした。そうすることで、多くの発表を体験することができ、互いの発表を認め合える場が出来ると考えた。さらに、自分の気づきに意見をもらうことで、気づきを自覚したり、関連付けたり、視点を変えて捉えたりして気づきの質を高め合うことができるようにしていきたい。そして、友達に伝える喜びやこれまで知らなかったことを教えてもらう楽しさを味わわせ、自分達が住んでいる町の場所、そこで働く人の魅力に気付かせたい。また、もう一度行ってみたい、他の所にも行ってみたい、お店の人にお礼を伝えたい、お店のことをもっと多くの人に知って欲しいなどの気持ちをもたせ、「つながる広がるわたしの生活」において自分たちの地域に親しみや愛着がもてるようにしていきたい。

3 「分かった」「もっとやりたい」子の育成を目指した指導と評価の手だて

学習の見通しをもったり自分の考えをもったりし、主体的に取り組めるようにするための工夫

手だて① 前時の振り返りと終末の振り返りの工夫

導入では、学習した内容から本時の活動につなげるようにする。終末では、授業アンケートやオクリンク等で自分の活動の記録を残すことで、教師が次時の児童への評価や指導に生かすようにする。

手だて② 気づきを促す言葉かけの工夫

作成したものを見たり発表を聞いたりしてどう思ったか、声掛けや問い直しを行うことで、児童に新たな気づきを自覚させ、深い学びを促せるようにする。

個別最適な学びとなるための工夫

手だて③ ICT機器の活用

授業の終末では、活動の内容をオクリンクで記録してもらうことで、児童の活動の進捗状況を把握し次時の個別な声掛け、指導に生かせるようにする。

協働的な学びとなるための工夫

手だて④ グループ活動の設定

町探検のまとめや発表の準備をグループで行うことで、児童同士の気づきを促し、お互いを高められるようにする。

4 単元の目標

自分たちの生活や地域の人々と伝え合う活動を通して、相手のことを想像したり、伝えたいことや伝え方を選んだりすることができ、身近な人々関わることのよさや楽しさが分かるとともに、進んで触れ合い交流しようとするができるようにする。

5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、身近な人々と関わることのよさに気付いている。	・自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、相手のことを想像したり、伝えたいことや伝え方を選んだりしている。	・自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、地域の人々に親しみをもち、進んで触れ合い、交流しようとしている。

6 単元の指導計画（12時間）

小単元名（時数）・ねらい	主な学習活動（時数）	○指導上の留意点 ◆評価
まちのすてきを話し合おう （2時間） ・地域で関わった人のことや分かったことを伝えたいという思いをもち、伝える相手のことを想像しながら伝えたいことを選ぶ中で詳しく調べたいことがあることに気づき、もっと調べようとすることができるようになる。	○町探検の出来事を振り返り友達と伝え合う。（1） ○「まちのすてき」を伝える計画について話し合う。（1）	○今までの「見つけたよカード」や「たんけんてちょう」を見直すことで、自分が見てきたことや気づきを振り返れるようにする。 ◆地域で関わった人のことや分かったことを伝えたいという思いをもち、もっと詳しく調べようとしている。 【主】
もっとくわしく調べよう（4時間） ・伝える相手のことを想像しながら、伝えたいことを調べる中で、相手が伝えたいことが理解できるようになるなど、身近な人々と関わることのよさに気付くことができるようにする。	○伝え方を個人で決めてまとめる。（3） ○グループ内で発表を行って感想を伝え合い、グループの人たちと自分たちの町探検のすてきを共有する。（1）	○いくつかの発表の仕方を紹介し、その中から自分で発表の仕方を選択できるようにする。 ◆相手が伝えたいことが理解できるようになるなど、身近な人々と関わることのよさに気付いている。【知】
伝えたいことをまとめよう （4時間） ・伝えたいことが相手に伝わるかどうかを予想しながら伝え方を選ぶ中で、伝える相手に応じた伝え方があることに気付くとともに、適切な方法で表現しようとすることができる。	○グループ内発表を振り返り、まとめ方について話し合う。（1）＜本時＞ ○どうしたら相手に伝わるかを話し合い、みんなに伝える準備をする。（3）	○全体の場で「誰に」「何を」伝えるかを確認する。 ○グループで調べたことを整理することと、「伝えること」にまとめることを確認し、各グループでまとめたことを整理する。 ◆伝えたいことが相手に伝わるかどうかを予想しながら伝え方を選んでいく。【思】
まちのすてきをとどけよう （2時間） ・地域のよさを相手に伝えたり交流したりする活動を通して、互いの気持ちがつながる心地よさに気付くとともに、身近な人々と関わることのよさを実感し、これからも進んで関わろうとすることができるようにする。	○グループでまとめたことを違うグループに発表し、今までの単元の学習を振り返る。（2）	○発表を通して違うグループのすてきに気づき感想に残せるようにする。 ◆交流することで互いの気持ちがつながる心地よさに気づき、これからも進んで身近な人々と関わろうとしている。【知】【主】

7 本時の指導（7／12）

（1） 目標

グループ内発表を振り返り、伝えたいことが相手に伝わるかどうかを予想しながら伝え方を選ぶことができる。【思】

（2） 本時の展開

主な学習活動・内容	○指導上の留意点 ◆評価（評価方法）	時間
1 前回のグループ内発表を振り返り、本時のめあてを確認する。 ・絵を組み合わせると見やすい。 ・話をするだけでは、どこの話なのかわからない。 ・字が小さすぎて読めないと伝わりづらいかもしれない。 町のすてきのつたえ方を話しあおう。	○前時の発表原稿を振り返り、だれのどこがよかったかを簡単に振り返り、本時のめあてにつなげる。 ○「1年生にも伝わるようにするためには」などの視点を与えて伝え方のよいところを振り返れるようにする。	7
2 本時の流れを伝え、グループでまとめるポイントを出し合う。 ・だい名を大きく書いておくとなにについてのものかがわかりうまく伝わるかもしれない。 ・自分たちの名前も入れよう。 ・一ばん伝えたいことははじめに書いてある。 ・紙が大きいのでどこに何を書こうかまような。	○本時の流れを事前に説明し、ホワイトボードに提示する。 ○発表を振り返り、伝わるようにするための気付きや工夫を共有する。 手だて② 気付きを促す言葉かけの工夫 作成したのを見たり発表を聞いたりしてどう思ったか、声掛けや問い直しを行うことで、児童に新たな気付きを自覚させ、深い学びを促せるようにする。	13
3 どこにだれが何を書くのかを話し合い整理する。 ・〇〇さんのこれが一ばん伝えたいすてきだから入れた方がいいと思う。 ・〇〇さんのすてきはここに入れて作るといいんじゃないかな。 ・字を大きくして書くと遠くからでも見やすいんじゃないかな	○ワークシートを準備し、大きな紙のどこに何をまとめるかグループで話し合い整理する。 手だて③ グループ活動の設定 町探検のまとめや発表の準備をグループで行うことで、児童同士の気付きを促し、お互いを高められるようにする。 ◆伝えたいことが相手に伝わるかどうかを予想しながら伝え方を選んでいく。【思】（ワークシート） ○構成の話し合いが終わり次第まとめる活動に移っていいことを伝える。	20
4 活動を記録に残し、振り返り、次時への見通しをもつ。	○授業アンケートに本時でできたことを振り返る。	5